



7月7日七夕。各事業所で様々なイベントが行われました。射的や旗揚げゲームに飾り付け。健康や家族の思う短冊が飾られていました。



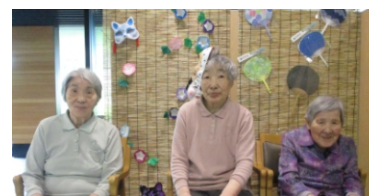
7月7日の七夕に向けて、中山認定こども園の子供たちと通所介護の利用者の皆様と一緒に七夕飾りを作りました。3回にわたり、交流が行なわれ、最後に子供たちが星の首飾りをプレゼントしてくれました。子供たちのかわいいサプライズに利用者の皆さんも大変喜んでいました。



7月18日、グループホームでの収穫祭。朝からかぼちゃの収穫をして、かぼちゃのカップケーキを作りました。収穫祭のポスターも手作りし、楽しく収穫をお祝いしました。



6月28日から7月15日までの3週間、寿限無では現場実習生を受け入れました。鶴南特別支援学校時津分校・高等部3年生の生徒さんで、フロア清掃や洗濯、介護補助、環境整備など様々な業務に取り組みました。また学校で車イスの取扱い方法を予習してきたということで、職員付き添いのもと、ご利用者様が座っている車いすを押すことにも挑戦しました。



15～17日、元亀の里のエントランスホールに、シニア横丁縁日が登場。的当てやおみくじ、ボールすくいなど、夏のお祭りを演出しました。

随 ずっとらばし

まさに毎日その報道が世間に流れない日はないと言っていい。新型コロナ関連の報道のことです。しかし、今起こっている状況を、2年前の誰が予想できたでしょうか。今現在の私が、2年前の私に現在の世界の話をしたとしても、映画の『感染列島』の話ではありませんが、フィクションか、でなければ、質の悪い冗談として相手にされないだろうと思います。たとえば、50枚入りの使い捨てマスクに、ネットオークションで15,000円を超える値段がついたり、2020年のオリンピックが1年延期になったであるとか、各界の有名人が新型コロナによって命を落とすな

ど、過去の私が現在の私から『これが未来の現実だ』と言って話されてもなかなか信じることはできないかもしれません。しかし、そのフィクションのような世界が今、目の前に広がっているのです。そして今を生きている私達は、とにかくひとりひとりが【手洗い・うがい・消毒・行動記録】といった予防を頑張っていくしかありません。ワクチンの接種も進んでいっているところですが、油断は大敵。初心に帰って小さい予防策の実行を一つ一つ頑張っていきたいと思います。

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。
今月は通所介護の尾崎天俊さんです。



せいひ会だより

2021年(令和3年)
8月1日発行
<第256号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



七夕の始まりや七夕にまつわる物語は、様々ありますが、1年に1度だけ会える織姫と彦星のハッピーエンドにならないこの言い伝えには奥深さを感じます。この作品のように2人が並んで地球を見てたら、何を思っ眺めてるのでしょうか。(通所介護の共同作品)



新型コロナウイルス感染拡大に伴う 面会中止のお知らせ対策ご協力をお願い



コロナウイルスの感染拡大に伴い、7月末を持ちまして施設における面会を中止させていただきます。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

7月の行事

7日 七夕
15~18日 縁日
18日 収穫祭

(各事業所)
(SV)
(GH)



8月の行事予定

15日 夕涼み会
25日 夏祭り
3~31日 作品展示会

(GH)
(元亀)
(風和)





元亀の里
山下サイ様

バースデーインタビュー

大正10年生まれで今月100歳の誕生日を迎えられ、これまでと何も変わらないことが嬉しいですと山下サイ様。これからも世話ばかりかけるけれどお迎えが来るまでは元気でいたいと笑顔でインタビューに答えて下さいました。昔はおくunchや子どもの誕生日など、集まりごとの時には得意料理の田舎寿司や茶碗蒸しをよく作っていたそうです。お世話好きで、趣味は孫やひ孫の世話をすることですと話されていました。小さい時は好き嫌いがあったけれど、今は何でも食べられるので、元気が出る鰻を食べたいとおっしゃっていました。これまで色々な場所へ旅行をしてきたが、見所が多い京都にまた行ってみたいそうです。元亀の里へ入所してから、他の入所者とおしゃべりや毎回の食事を楽しみに過ごされています。「家族の世話にならんごとしたい」と、リハビリを頑張っておられます。ご自宅へ帰る日を楽しみにしている山下様でした。

LIFE
IS
A WORK
OF
ART
今月の作品紹介です。



通所リハビリ共同作品

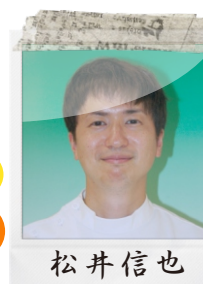


じゅげむ共同作品



寿限無2階共同作品

職員紹介



松井信也

2021年4月より元亀の里で作業療法士として勤務しています。大阪府出身で今年の3月に長崎へ移住してきました。長崎での生活にも少しずつ慣れ、妻と3人の子供達と賑やかに生活しています。コロナが収束したら長崎の名所やイベント、美味しい物を食べに出掛けたいと考えています。大阪では作業療法士としてこれまで約10年間、病院勤務をしていました。長崎でも介護の現場でも働くのは初めてになる中で、せいひ会の皆さんには本当に温かく迎え支えて頂いています。医療と介護の違いを学び、これまでの経験を活かしてまずは通所リハビリを中心とした利用者様の生活の質を向上させる為に、努めて参ります。